



「始まったよ 私の畑のピザ物語」

右の写真は、長かった休校が明け、久しぶりの登校日に2組の子どもたちが畑に野菜の苗を植えている様子です。今年は、ピザに載せる野菜を自分で栽培していきたい。そんな願いから、ピザ作りの学習を始めたとい、休校前に子どもたちと歩み始めました。休校中のオンラインでの授業をきっかけに、育てたい野菜を決めて、その植え方も調べて、学習カードにまとめていました。子どもたちからメールで届いた学習カードを見ると、本当に細かなところまで調べられていて驚きました。

苗を植える場面では、前日の雨で畑がぬかるむ中、子どもたちも大変だったと思いますが、植え終わった苗を嬉しそうに見つめながら、水をあげる様子に、野菜の生長を心から楽しみにしている様子が伺えました。

日に日に野菜の苗が順調に成長していきました。一人ずつの畑の区画がはっきりとしているので、自分の畑という意識で、熱心に手入れをする子どもたちの姿が見られます。間引きや支柱立て、追肥などといった作業を、自分の育てている野菜に合わせて行っていました。ちょっとここおさえてほしいんだよね…。そんな場面では、言葉もなく自然と互いに助け合う姿が見られて、同じ願いをもっているからこそ、出会えるかわかりがたくさん見られました。

その中で、とうもろこしの間引きについて真剣に悩む場面が…。畑で10分近く苗を見続ける姿に、「どうしたの?」と声をかけると、「先生、まだ覚悟ができない(間引きする)…」とつぶやく姿が。とうもろこしの生長をととても楽しみに毎日いっしょうけんめい水やりをしていた様子を思い返しました。数日後「先生、覚悟できた、一本抜く」と言って、畑へ出かけていきました。毎日お世話をする中で、野菜に対して心を寄せていく言葉や行動に驚かされました。

2組の子どもたちが、自分たちの大切にしているピザにのせる野菜を育てていくことを通して、学んだこと、思考したこと、決断したことどれもが私には、光って見えました。自分のピザに載せる野菜を決めたあの瞬間から、子どもたちと野菜とのエピソードが始まっていました。どうしてその野菜なのか、ということも子どもたち一人ひとりにいろいろな背景があるようです。

畑の別の場所に目を向けると、やっと出てきたじゃがいもの芽とにらめっこをする子どもの姿が…。「芽かきするんだよねあ…」と独り言なのか誰かに聞いてほしいのか、それともじゃがいもの芽に呟いているのか、何とも言えない声のボリュームで話す姿に、ここでも何か始まっているとついつい見守っていきたくなる、自分がいました。

夏休みには、収穫できた野菜を使ってピザを作る課題が出ています。どんなピザになったのか、休み明けにみんなで紹介し合うのが、とても楽しみです。

